

# 中学校の農業教育を支援

## 要約

国内有数の柿産地にある五條市立西吉野中学校（生徒数46名）を対象に、指導農業士等と連携し、柿栽培の作業体験を通じて、地域の基幹産業である農業への関心・理解を深め、将来の産地の担い手を育成する。

## 現状(背景)と課題

- 五條市西吉野町（旧西吉野村）は国内有数の柿産地である
- 生徒には果樹専業農家の子弟が多い
- 後継者の確保は産地の重要課題である

## 目標

- 地域の基幹産業である農業への理解を深める
- 農業の持つ魅力に対する理解を高める
- 職業として農業を意識づける

## 活動内容

- 柿産地についての講義
- 栽培作業（摘らい、せん定）の実習指導
- 販売体験機会の提供

## 成果

- 年間の管理作業を実習することにより、柿作りの流れや難しさを知ることができた。
- 地域のイベントでの販売体験を通して消費者との交流ができた。



普及指導員による柿産地の解説



指導農業士による摘らい実習

南部農林振興事務所農業普及課  
担当：担い手係 森岡、産地づくり係 多田  
指導農業士活動事業

## 普及活動のポイント

- 普及指導員は各管理作業の目的・必要性や手順の説明を行い、トレーナー役として実習に加わった。
- 指導農業士を講師に招き、柿栽培のやりがいや苦労話など生の声を直接生徒に聞いてもらう機会を設定した。

## 対象の変化

- 農業は食を支える重要な産業であることを認識した。
- 柿づくりは地域の基幹産業であることを認識した。
- 総合学習の時間以外でも柿の生育の様子を積極的に観察するようになった。

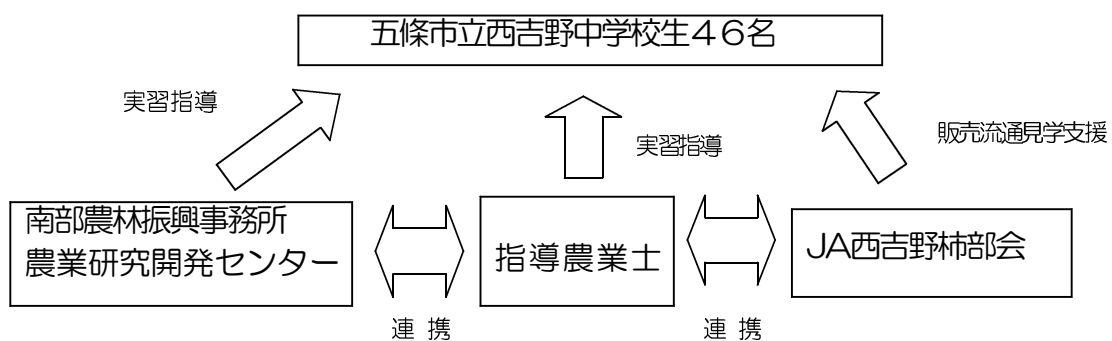
## 対象者からのコメント

- 農家さんから直接話を聞いて、農業の魅力を知ることができた。
- 実際に作業し、柿づくりのむずかしさがわかった。
- 地域のイベントで販売体験をすることにより、柿を買ってもらうことのうれしさや大変さを肌で感じることができた。

## これからの活動ビジョン

- 職業としての農業への関心・理解を深めてもらい、将来の就農へ結びつけていく。

## 活動体制



## 用語解説

### ○指導農業士

現に優れた農業経営を行いつつ農村青少年の育成に指導的役割を果たしている者で、知事が認定した農業者。